



## 栗山町応援大使 ふれあいトークショー開催



2018年栗山町応援大使の宮西尚生選手、浅間大基選手が栗山町にやってきます！  
応援大使のトークショー＆質問コーナー、レプリカユニフォームやサイン入りボールが当たる抽選会などを行います！

栗山町民限定イベントとなっていますので、皆様のご応募お待ちしております。

ファイターズは、惜しくもクライマックスシリーズファーストステージ敗退となってしまいましたが、来シーズンに向けて、宮西選手、浅間選手そしてファイターズを応援しましょう！

### 【日程・会場】

11月21日(水) 開場 15:00 開演 16:20 終了 17:30 (予定)  
スポーツセンター

### 【対象】

栗山町民 500人 (定員)

※小学校2年生以下の方は保護者同伴での申し込みをお願いします。

※4歳以上から申し込みが必要です。(4歳未満でも座席を確保する場合は申込が必要です)

※車いすを利用される方など、介助者の同行が必要な方は、申し込む際にお申し出ください。

### 【申込方法】

役場・総合福祉センター「しゃるる」・農村環境改善センター・南部公民館・まちの駅「栗夢プラザ」・カルチャープラザ「Eki」に備え付けの申込用紙にご記入いただき、下記申込先へ直接持参またはFAX・郵送で送付いただくか、申込内容を電話またはメールでご連絡ください。

※持参および電話の受け付けは、平日8:30～17:15に限ります。

※申込用紙は町ホームページからもダウンロードできるほか、申込フォームからも直接お申し込みいただけます。(http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/docs/2018101000018/)

### 【注意事項】

- ・申し込みは1組4人までとし、同一人を含む複数申込は無効とします。
- ・申込多数の場合は抽選とします。
- ・抽選結果は当選者にのみ郵送でお知らせします。お知らせは11月中旬を予定しています。

【申込締切】11月12日(月) 17:15

【申込先】町経営企画課地域政策グループ

☎: 73-7502 FAX: 72-3179 メール: tiikiseisaku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

## 宮西尚生選手、ホールドポイントプロ野球新記録達成 最優秀中継ぎ投手賞受賞 おめでとう！！

プロ野球のレギュラーシーズンが全日程終了し、2018年の表彰選手が発表されました。投手部門において、栗山町応援大使の宮西尚生選手が2年ぶり2度目の「最優秀中継ぎ投手賞」に輝きました！宮西選手は、ルーキーイヤーから続いている50試合登板を11年連続に更新。6月には史上40人目となる通算600試合登板を達成。9月には通算325ホールドポイントを上げ、プロ野球新記録をマークするなど、2018年は記録づくしの一年となりました。

## 保育所・認定こども園・児童クラブ

# 平成31年度 入所申込受付開始

平成31年度に新たに保育所・児童クラブに入所を希望する児童の申し込みを受け付けます。

### ◆受付期間

11月1日(木)～30日(金)

### ◆提出先・問い合わせ先

町福祉課福祉・子育てグループ(窓口⑤番)

☎2222

※入所申請書などは提出先で配布しています。

### 保育所(表1・2)

#### ◆入所条件

- ① 次のいずれかの理由で保護者および同居の親族の方が家庭でお子さんを保育できない場合
- ② 就労(フルタイム・パート・自営)
- ③ 妊娠・出産
- ④ 保護者や同居者の疾病・障がい

【表1】町内の保育所

保育所名(経営主体名)	住所・電話番号	定員	受入年齢
栗山いちい保育園(社会福祉法人 水の会)	中央3丁目309番地5 ☎72-1572	120人	生後9週～
継立まつば保育園(学校法人 松田学園)	継立176番地29 ☎75-2032	60人	生後9週～
マロンキッズ保育園(学校法人 松田学園)	朝日3丁目115番地8 ☎76-7258	19人	生後9週～ 3歳未満

### ④ 就職活動 ⑤ その他

#### ◆保育の必要量(保育時間)

- 標準時間  
午前7時半～午後6時半  
(就労時間が月120時間以上の方)
- 短時間  
午前8時半～午後4時半  
(就労時間が月64時間以上120時間未満の方)

#### ◆申し込みに必要な書類

- ① 入所申請書(町様式)  
※第3希望まで必ず記入してください。
- ② 入所希望の多い保育所は、利用調整を行いますので、第1希望の保育所に入所できない場合があります。
- ③ 雇用証明書または、保育が必要な理由を確認できる書類
- ④ 保育休明けの方は育児休業

【表2】町内の認定こども園(2・3号)

園名(経営主体名)	住所・電話番号	定員	受入年齢
幼保連携型 栗山めぐみこども園(学校法人 栗山立正学園)	錦2丁目46番地 ☎72-4914	25人	満1歳～

【表3】町内の児童クラブ

クラブ名(地区名)	定員	開設時間
にじのご児童クラブ1組(栗山)	40人	【月～金曜日】 下校時～18:30 【土曜日・夏・冬休み、学校休業日】 8:00～18:30
にじのご児童クラブ2組(栗山)	40人	
マロンキッズ児童クラブ(朝日)	20人	
どんぐり児童クラブ(角田)	20人	
かぜのご児童クラブ(継立)	20人	

※栗山地区児童クラブ利用希望の場合は、定員を超えると待機になる場合があります。

### 児童クラブ(表3)

#### ◆利用条件

昼間、保護者が仕事などでない家庭の小学1～6年生の児童が対象

#### ◆申し込みに必要な書類

- ① 児童クラブ利用申込書
- ② 雇用証明書
- ③ 平成30年度の住民税課税(非課税)証明書

※平成30年1月1日に栗山町に住居登録のない方のみです。

#### ◆利用料

平成30年度の住民税額により、5段階に分かれています。  
※傷害保険料は別途負担になります。

- 期間のわかる書類を添付してください。
- ③ 平成30年度の住民税課税(非課税)証明書  
※平成30年1月1日に栗山町に住居登録のない方のみです。
- ◆保育料  
4～8月は平成30年度、9～3月は平成31年度の住民税額により算定

# 栗山と地震・今昔

No.29

9月6日の早朝に発生した「北海道胆振東部地震」では、多数の犠牲者と住宅被害を出し、全道での停電を伴った大きな災害となりました。地震災害の悲惨さで記憶に新しいところでは、平成23(2011)年の「東日本大震災」があり、さかのぼれば15年前の平成15(2003)年、50年前の昭和43(1968)年に発生した「十勝沖地震」を思い出される方も多いことでしょう。ただ、記憶というところは実に曖昧なもの。その場の環境や受け止めなどによって、記憶の個人差はあるようです。

今回、地方新聞「北海タイムス」記事の中から、明治・大正初期の栗山での地震記録を探してみました。当時の新聞報道では、大きな被害が出ない限りは記事にはならず、内容も揺れの大きさを伝える簡単な記述だけです。

■明治45(1912)年6月9日「地震・昨八日午後二時強震ありたり」。

■大正元(1912)年9月26



地震除けの「鯨絵」(江戸時代)

日「微震・昨夜九時三十分頃微震ありたり」。

■大正2(1913)年2月24日「地震・昨二十日午後六時強震五秒にして人々戸外に飛出したるものあり」。

江戸時代は、地震を「鯨（鯨）」の所業と考え、地震除けとして「鯨絵」を飾っている家もあったようです。しかし今は、そのように考える人は少数派でしょう。人の記憶は曖昧ですが、過去の記録から事例を振り返り、地震と向き合い、その教訓を伝えることも大事なことだと思えます。(青木)

【問い合わせ】  
町史編さん室(カルチャープラザ「Eki」内)  
☎7820



【問い合わせ】  
町経営企画課地域政策グループ ☎73-7502

JR室蘭線(岩見沢～沼ノ端間)沿線は、鉄路とともに栄えた歴史ある建物や街並みが形成され、駅を核としたまちづくりを進めています。現在、沿線市町(苫小牧市・安平町・岩見沢市・由仁町・栗山町)が連携し、室蘭線の維持・存続に向けた具体的な協議を進めています。今月号では、「鉄道の町」安平町で来春オープンする道の駅をご紹介します。

## 「道の駅あびらD51(デゴイチ)ステーション」

現在、安平町では国道234号沿い(追分地区)で、農畜産品や加工品などの特産品をはじめ、観光情報、歴史・文化の情報発信をテーマに平成31年春のオープンに向け、急ピッチで準備が進められています。昔の駅舎をモチーフとした懐かしい外観を基調とした道の駅には、S・L車庫も併設されます。



完成外観パース図



施設内完成イメージ図

## JR室蘭線利用促進策について

町では、JR室蘭線の利用促進策のひとつとして、本年4月のくりやま老舗まつり、9月の栗山秋まつりに合わせた臨時列車の運行をJR北海道へお願いし、沿線市町のご協力のもと、それぞれ実現することができました。今後も引き続き、多くの方の利用を目指し、沿線市町と連携した利用促進策を進めていきます。

**町民皆さんの声をお寄せください**  
鉄道を「残す」ためには、特に沿線に暮らす町民皆さんのご理解とご協力が不可欠です。皆さんのJR室蘭線の利用促進策に関するアイデアやご意見をお寄せください。  
【提出方法】 郵送、ファックス、Eメールまたは持参(様式は問いません)  
〒069-1512 栗山町松風3丁目252番地  
栗山町経営企画課地域政策グループ 宛  
FAX 72-3179 Eメール tiikiseisaku-g@town.kuriyama.hokkaido.jp

## 新しい力で栗山を元気に! 地域おこし協力隊です

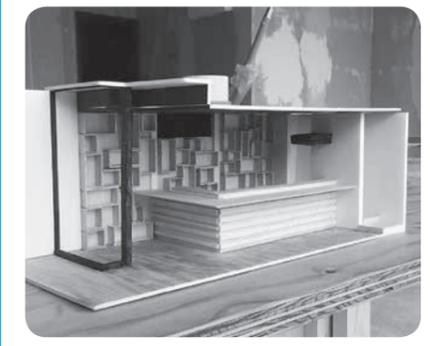
# 暮らしの中にある存在に!

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の井上です。

9月24日から3日間開催された栗山秋まつりでは、来る11月16日の「カフェバルくりとくら」オープンに向け試験営業を行いました。栗山町に来て初めての秋まつりは、想像以上に多くの方で賑わい、「こんなにたくさんの方が来るの!」とびっくりしてしまいました! 噂通り、スケールの大きい華やかなお祭りだと実感しました!

改装中のお店はカウンターができただけで、照明もない状態ではありましたが、協力隊メンバーで備品を持ち寄り、お客様を迎えられる準備ができました! 小林酒造の日本酒を使ったカクテルも好評で、「オープンした時にはまた頼むね!」とお話ししてくださる方も多くいらつしやう、今後に向けてより力が入りました!

オープンまで残りわずかとなり、準備も大詰めになっていきます。皆さんの日々の暮らしの中



店舗カウンター完成イメージ(模型)



試験営業時の店舗カウンター

に「カフェバルくりとくらがある」そんな存在になれるよう頑張りますので、応援をよろしくお願いします!

【問い合わせ】  
町PR隊事務所 ☎7103